

別添5 森林整備保全事業におけるICT活用工事の出来高管理について

章	節	項	節	項	追加項目
森林土木工事共通	1	- 1	土工	適用	○
	2	- 1	無筋・鉄筋コンクリート	鉄筋工	
	3	- 1	一般施工	共通的工種	○
		- 2	一般施工	基礎工	
		- 3	一般施工	石・ブロック積張工	
		- 4	一般施工	一般舗装工	
		- 5	一般施工	地盤改良工	
		- 6	一般施工	仮設工	
		- 7	一般施工	工場製作工 共通	
		- 8	一般施工	橋梁架設工	
		- 9	一般施工	法面工 共通	○
		- 10	一般施工	擁壁工	
		- 11	一般施工	床版工	
治山防潮工等	4	- 1	堤防・護岸	護岸基礎工	
		- 2	堤防・護岸	護岸工	
		- 3	堤防・護岸	波返工	
	5	- 1	突堤	突堤基礎工	
		- 2	突堤	突堤本体工	
		- 3	突堤	根固め工	
		- 4	突堤	消波工	
	6	- 1	離岸堤 潜堤	海域堤基礎工	
	7	- 1	砂丘造成	森林造成	
溪間・山腹工等	8	- 1	溪間工	法面工	
		- 2	溪間工	コンクリート治山ダム工	
		- 3	溪間工	鋼製治山ダム工	
		- 4	溪間工	木製治山ダム工	
	9	- 1	流路工	床固め工	
	10	- 1	山腹工	土留工	
		- 2	山腹工	落石防護工	
		- 3	山腹工	暗渠工	
		- 4	山腹工	山腹水路工	
		- 5	山腹工	柵工	
		- 6	山腹工	植生工	
		- 7	山腹工	伏工	
	11	- 1	地すべり防止工	集水井工	
		- 2	地すべり防止工	杭工	
		- 3	地すべり防止工	暗渠工	
	12	- 1	森林整備	森林整備	

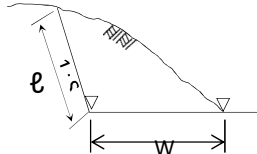
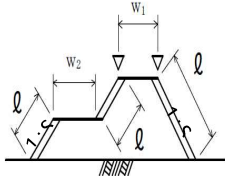
【森林整備保全事業編】

章	節	項	節	項	追加項目
林道	13	- 1	林道	一般	
		- 2	林道	法面工	
		- 3	林道	擁壁工	
		- 4	林道	カルバート工	
		- 5	林道	排水施設工	
		- 6	林道	落石雪害防止工	
	14	- 1	舗装	踏掛版工	
		- 2	舗装	防護施設	
	15	- 1	橋梁下部	工場製作工	
		- 2	橋梁下部	橋台工	
		- 3	橋梁下部	R C 橋脚工	
		- 4	橋梁下部	鋼製橋脚工	
	16	- 1	橋梁上部	工場製作工	
		- 2	橋梁上部	鋼橋架設工	
		- 3	橋梁上部	橋梁付属物工	
	17	- 1	コンクリート橋上部	プレバーム桁橋工	
	18	- 1	木造橋上部	木造橋上部	
	19	- 1	トンネル NATM	支保工	
		- 2	トンネル NATM	覆工	
		- 3	トンネル NATM	インバート工	
		- 4	トンネル NATM	抗門工	
	20	- 1	道路維持	切削オーバーレイ工	
		- 2	道路維持	路上再生工	
	21	- 1	道路修繕	工場製作工	

直接測定による出来形管理


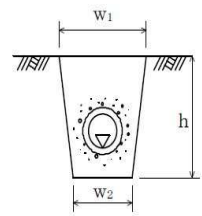
工 種			項 目	規格値(mm)	測 定 基 準
1 土 工	1 適 用	1 掘削工	基準高 ▽	±50	施工延長 4 0 mにつき 1 箇所、延長 4 0 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。
			法 長 ℓ	法長5m未満 −200 法長5m以上 −4%	
			法勾配 S	-0.5分	・ただし 3 次元計測技術を用いた出来高管理を発注者が指定して規定により管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は掘削部の両端で測定。
			幅 W	-150	
		2 盛土工	基準高 ▽	-50	施工延長 4 0 mにつき 1 箇所、延長 4 0 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。
		4 残土処理工	法 長 ℓ	法長5m未満 −100 法長5m以上 −2%	
		5 路体盛土工	法勾配 S	-0.5分	・ただし 3 次元計測技術を用いた出来高管理を発注者が指定して規定により管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。
		6 路床盛土工	幅 W1, W2	-100	

【森林土木工事共通】

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの（様式 3）	結果一覧表によるもの（様式 8）	構造図に朱記、併記するもの		
20点以上のもの	20点未満のもの	断面については横断面図朱記、併記する。		
同 上	同 上	同 上		

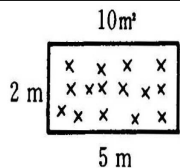
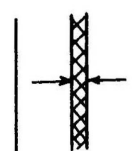
【森林土木工事共通】

工 種			項 目	規格値(mm)	測 定 基 準
3	1	28 側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基準高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定により測点の管理方法を用いることができる。
			延 長 L	-200	1ヶ所／1施工箇所 3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定により管理を行う場合は延長の変化点で測定
		30 側溝工 (暗渠工)	基準高 ▽	±30	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定により測点の管理方法を用いることができる。
			幅 w1, w2	-50	
			深 さ h	-30	
					3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定により測点の管理方法を用いることができる。
			延 長 L	-200	1施工箇所毎
					3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定により管理を行う場合は延長の変化点で測定。

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの(様式3)	結果一覧表によるもの(様式8)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高で20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの、延長	左記のもので箇所単位のもの		
基準高、幅、深さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの、延長	左記のもので箇所単位のもの		

【森林土木工事共通】

工 種			項 目		規格値(mm)	測 定 基 準
3	9	1 植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工)	切土法長 ℓ	ℓ<5m	－200	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
				ℓ≥5m	法長の－4%	
			盛土法長 ℓ	ℓ<5m	－100	
				ℓ≥5m	法長の－2%	
			延 長 L		－200	1 施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
			被覆率		設計値以上	
			アンカーピン 及び止め釘	植生マット		500m ² に1箇所の割合で測定する。 上記未滿は2箇所測定する。
				植生シート	肥料袋付 6本/㎡以上 肥料袋無 3本/㎡以上	
			重ね合せ幅		植生マット 植生シート 5cm以上	植生マット、植生シートは500m ² に1箇所の割合で測定する。 上記未滿は、2箇所測定する。

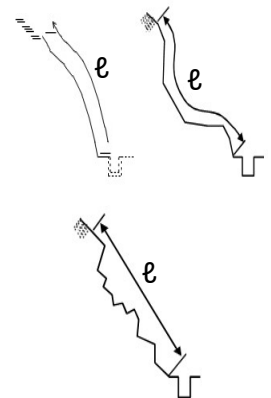
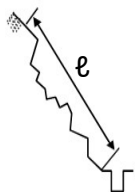
管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの(様式3)	結果一覧表によるもの(様式8)	構造図に朱記、併記するもの		
20点以上のもの	左記のもので20点未滿のもの	－		
<div>測定表または出来形図</div> <div>検査時に確認できない場合は、特別仕様書による。</div>				
－		－		
				規格値に示す値は標準であることから、工法により標準本数が異なる場合は、別途監督員と協議する。
				植生マット、植生シートの重ね合せについては、工法により異なる場合、別途監督員と協議する。

【森林土木工事共通】

工 種			項 目		規格値(㎜)	測 定 基 準
3 一般 施工	9 法面 施工 共通	2 植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	法長 ℓ	ℓ<5m	−200	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
				ℓ≧5m	法長の−4%	
			厚さ t	t<5cm	−10	施工面積200㎡につき1ヶ所、面積200㎡以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。 検査孔により測定。
				t≧5cm	−20	
				ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。		
			延 長 L		−200	1 施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
被覆率		設計値以上	1,000㎡に1箇所			

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの(様式3)	結果一覧表によるもの(様式8)	構造図に朱記、併記するもの		
20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの	—		
厚さ20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの			
		展開図及び測線長		
	測定表または出来形図			検査時に確認できない場合は、 特別仕様書による。
—		—		

工 種			項 目		規格値(mm)	測 定 基 準
3 一般 施工	9 法 面 工 共 通	4 吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法 長 ℓ	ℓ<3m	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。 測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
				ℓ≧3m	-100	
			厚 さ t	t <5cm	-10	200㎡につき1ヶ所以上、200㎡以下は2ヶ所をせん孔により測定。
				t ≧5cm	-20	
				ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。		
			延 長 L		-200	1 施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
		5 法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法 長 ℓ	ℓ<10m	-100	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
				ℓ≧10m	-200	
			幅 w		-30	枠延延長100mにつき1ヶ所、枠延延長100m以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
			高 さ h		-30	
			枠中心間隔 a		±100	1 施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。
			延 長 L		-200	1 施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに3次元計測技術を用いた出来高管理は、発注者が指定する規定による出来高計測性能を有する機器を用いる事ができる。

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの(様式3)	結果一覧表によるもの(様式8)	構造図に朱記、併記するもの		
20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの	—		
厚さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び延長	—		
法長、枠中心間隔で20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの	延長については、展開図に朱記、併記するもの	